

## 伊那市中学生キャリアフェス2022事業

### 取組に至る背景・事業の目的

- 伊那市への愛着を深め、将来伊那市を支える人材を育成するため、伊那市キャリア教育推進委員会を設置し、産学官協働で幼児期から発達段階に応じたキャリア教育を行っている。
- この教育を推進するための活動の中で、「地域を知り」、「地域の人とふれあい」、「地域の未来を考える」機会として、伊那市中学生キャリアフェス実行委員会を組織し、市内全中学2年生を対象に「伊那市中学生キャリアフェス」を開催。
- 地元の歴史・文化・仕事を知り、多くの大人たちと出会うことにより、地元の素晴らしさや伊那市で生活することの喜びを中学生という早い段階で知ってもらい、この体験が将来「地元に戻る」「伊那市で働く」という選択するきっかけになるものとする。
- また、キャリアフェスに関わることにより、子どもだけでなく大人たちも郷土への想いを更に深める機会となり、次世代育成への関心・成果が高まることが期待される。

### 事業内容

- 伊那市中学生キャリアフェス2022  
 開催日時：令和4年11月10日（木）  
 開催場所：エレコム・ロジテックアリーナ（伊那市民体育館）  
 及び武道館  
 対象者：市内全中学2年生  
 （市内6中学校+伊那養護学校中学部の生徒）  
 参加生徒数：582人  
 出展団体等数：78（うち7はオンライン出展）  
 伊那市、伊那谷の多種多様な事業所、団体等がブースを構え、中学生に向けて自社のこと、働くということ、伊那市に対する想いなどを体験談や実演などを交えて伝えていただいた。



【 当日の集合写真 】

### 事業効果

- 子どもたちが、伊那市への愛着を深め、将来伊那市を支える人材の育成につながった。  
 （生徒の感想から：伊那市にこんな職場があるとは思わなかったし、知らなかった知識を知ることができた。）
- 参加した大人たちにとっても、自らが働く企業（事業所）や伊那市に暮らすことの素晴らしさを再認識するとともに、次世代の担い手となる人材の育成に関心を持つ機会となった。  
 （出展者の感想から：大人も刺激を受け、また地域のために頑張ろうと思える機会になった。）
- 同じ地域に住んでいる者同士、子どもと大人の垣根を超えて関われる時間の大切さを実感する機会となった。  
 （生徒・出展者の感想から：こんなにも地域のことを思っている大人たちが沢山いることを知ることができた。）

### 工夫・苦勞した点、課題、今後の取組など

- 感染症の影響により、過去2年をオンライン開催としたことから、3年ぶりの対面方式での開催となった。関係者の人事異動などにより過去のノウハウが薄れる中、再度一から創り上げ、万全の感染症対策を施しつつ、一部オンラインを併用しての開催には大変な労力を要した。
- 一部の生徒や実行委員に負担が集中してしまう傾向にあるので、改善が必要と感じている。
- 将来地域を担い、継承してくれる人材を育てるため、地域で育つ子どもたちが、たくさんの大人と出会い、生き方を知り、考え、自分の未来につなげて生かしていけるような経験ができる機会として、今後も更に進化発展させ、継続して開催していきたい。

### 【選定のポイント】

中学生が地元の大人や企業の魅力を知ること、地元の就職も視野に入れたキャリア形成について考える契機になるとともに、参加企業側にとっても次世代育成の機会として評価が高く、今後も発展的な事業展開が期待できる。また、産学官連携による実行委員会に生徒も加わって事業が企画・運営されるなど、地域が一体となった取組となっている。

団体名 伊那市中学生キャリアフェス実行委員会 連絡先 0265-78-4111 gak@inacity.jp	<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 30%;">事業タイプ</td> <td>ソフト事業</td> </tr> <tr> <td>事業費</td> <td>1,715,154円</td> </tr> <tr> <td>支援金額</td> <td>1,025,000円</td> </tr> </table>	事業タイプ	ソフト事業	事業費	1,715,154円	支援金額	1,025,000円
事業タイプ	ソフト事業						
事業費	1,715,154円						
支援金額	1,025,000円						